

磐城時報

編輯部 石城郡平野町四丁目
印刷部 石城郡平野町四丁目
電話 磐城 二四〇
代印 磐城 二四〇
代刷 磐城 二四〇
代行 磐城 二四〇
代送 磐城 二四〇
代取 磐城 二四〇
代配 磐城 二四〇
代貯 磐城 二四〇
代出 磐城 二四〇
代入 磐城 二四〇
代通 磐城 二四〇
代達 磐城 二四〇
代送 磐城 二四〇
代取 磐城 二四〇
代配 磐城 二四〇
代貯 磐城 二四〇
代出 磐城 二四〇
代入 磐城 二四〇
代通 磐城 二四〇
代達 磐城 二四〇

比佐氏を參與官に

石城民政黨で運動

幹部帯同して上京

濱口内閣は愈々總辭職となり四月九日午前九時半若槻新總裁に組閣の大命降下したので内閣の顔色も多少の變化を見る事となる。石城民政黨では前にも參與官の下馬評が高かつた代議士比佐昌平氏を是非參與官に祭りあげたいと幹部が協議の結果運動のため帯同して上京する事になった。

蠶糸業大會

相馬郡

蠶糸業組合、同業系業組合蠶業取締所支店主催にて十八日午前十時より相馬、双葉二郡聯合蠶業大會を原町支所内に開催する事となり関係者一同これが準備に忙殺せられてゐるが、當日は富田蠶業試験場長、太田蠶業課長其他臨席縣下に率先して蠶糸種統一を絶叫し蠶業大講演會を催し、午後から旭公園に於て蠶祭を執行する筈なるが、蠶期も目前に控えての事とて一般蠶家の來聴も相當多かるべしと豫想されてゐる。

土工亂暴

扇屋で

石城郡赤井村大字上平土工石山元一(三三)警崎村小野田小林長(四八)の兩名は十三日午後四時頃泥酔して平町扇屋町扇屋旅館で亂暴を働らき平署に検束された。

長男が入營し

可憐な一家

石城郡錦村大字大倉字南城荒平三郎は永年心臓病にて仕事も出来ず長男を頼りに生活して來たが其の唯一の働き手たる長男も過般入營し家族八人を抱いて途方にくれたるのを同村有志方にて一氏等が奔走し植田人事相談所より金品を寄贈を受け更に同村有志より金品を募集可憐な一家の爲め救助に努力してゐる。

種付牝馬検査

四月二十日金房村

相馬郡種付牝馬検査の場所及日割は四月二十日金房村五月四日津島

種付牝馬検査

四月二十日金房村

相馬郡種付牝馬検査の場所及日割は四月二十日金房村五月四日津島

御遷宮の橋開き

相馬郡石村深野鎮座天照太神

相馬郡石村深野鎮座天照太神出を豫想されてゐる。

偽華族の余罪

前科三犯のした、か者 詐欺罪で検事局送り

既報湯本町山形屋旅館で男爵八郎右衛門の一族で警崎村大字藤原三栄炭礦の復活について準備に來たものであると稱し豪遊してゐた自稱三井歌丸(二五)を半署で引致し取調べた結果前科三犯東京府下千駄ヶ谷町生れ澤田七藏(二六)と判明したがその後極力余罪を取調べた結果左の如き事實が判明したので十四日欺詐窃盜罪として平検事局に送つた。

教員轉任悲喜劇

借金で出發出來ぬ先生

石城郡南部の某教員平素の飲酒癖が祟つて會津の山奥に轉任を命ぜられたは、何せ一ヶ月中に一つのカフエーに八十圓も借金をこきいた豪者のだけに、つちこつちの料理店に山程ある飲み代に立つたにたれず規定による辭令受領の日より一週間に赴任する事にはしたが各料理店から居催せを受ける仕末、同僚職員代表が折角餞別をまとめて持つて來たが當日にどこにうしてかくれたか、到當停車場に姿を見せぬので見送り人はあきれて歸つてしまつた、人知れずつそり立とうと翌早一番汽車にて停車場に行けば早くも待ち受けた女將連に包圍され一般乗客の前にさんざんな恥をかきあれでも教育者かと思ふな呆れてゐた。

磐城炭礦従業員

五哩のマラソン競走

石城郡内郷村磐城炭礦では來る宮は豫て譜請中であつたがこの二十九日天長節を以て従業員の程竣工したので十六日遷宮式をマラソン競走を行ふ筈で目下練習執行するが、同時に同地内新田川に架かる木戸内橋も竣工したので橋開きを舉行する事となり木戸内河原に於て盛大に催す由であるから橋開きと相俟つて人の出を豫想されてゐる。

三島神社祭禮

原町は關趾の保勝會植樹と、同町植樹が僅に残れるに過ぎぬが開花と共に山櫻、ツツジ、沙千狩、小學校遠足と同山上は次第に賑つて來るが、本年よりは同町の名物根本一男君が關守となりサクラビール會社寄贈休憩所やハチマキ脚を設備する外に十七、八日頃迄には豊六豊位な大國旗を新調し山上になびかせ大日本精神を鼓舞する筈である。

郡南櫻便り

植田町 石城郡植田町八幡公園の櫻花は十七、八日頃見頃で既に花見茶屋は數軒を並べ、殊に本年よりは同町青年團主催にて電燈を募集し十一日より全山電燈にて花櫻に景を添ひ十一日の點燈と十七、八日頃の満開



花の山たゞ人間を見て戻り 然り、花は我等の見るものにあらす、わけて公園といふ奴の花こそくだらなし (二点) お花見の趣向に事務が抄らす 平凡なれどすら (二点) 寄書きのはがきに刺身落つ (二点) 意味一寸不明瞭の處あれど 刺身の落ちる光景面白き故 (二点) 花の山知らぬ男の馴れた世辭 誰彼れの差別なく四海同胞 にして丁ふ奴酔つて居るなり (二点)

常警各炭礦で 従業員整理断行か

出炭は三割以上に制限炭 主腦會議で決定

鐵道納炭の減量炭價大引下で果然苦境に陥つた常警炭界は全く生色を失つたかのやうに人の世の春をよそに静まり返つてゐるが、各炭礦首腦者は十二日平町態となり不安の空氣次第に濃厚に子亭に會合今後の善後策に就て協議を進めた結果此の苦境を切り抜ける爲めには止むを得ず現在の出炭炭二割二分制限を更郡中村鐵友會では獵期も終りに三割以上まで大制限を加へ此なるので名残りのトラップ射撃

鐵道納炭の減量炭價大引下で果然苦境に陥つた常警炭界は全く生色を失つたかのやうに人の世の春をよそに静まり返つてゐるが、各炭礦首腦者は十二日平町態となり不安の空氣次第に濃厚に子亭に會合今後の善後策に就て協議を進めた結果此の苦境を切り抜ける爲めには止むを得ず現在の出炭炭二割二分制限を更郡中村鐵友會では獵期も終りに三割以上まで大制限を加へ此なるので名残りのトラップ射撃

銘酒 たひら正宗

特價
 二合 壘詰 二十錢
 四合 壘詰 四十錢
 一升 壘詰 壹圓

山崎合名營業部
 電話 十番

謹告

各位益々御清祥の段奉慶賀候陳者今般顧客
 本位を主眼とし同業相互の向上を計り

平三業 保健組合
 平西 洋料理業組合
 平料 理店組合

右三組合一丸となり茲に組織し

「平和會」と稱し平素の御負顧客に酬ひ
 たく今回開業せる藝妓置屋「松の屋」を專屬
 とし藝妓の御需に應じ申候間何卒「舊に
 倍し御愛顧の程偏に奉懇願候先は御披露旁
 々御挨拶まで如斯に御座候也 敬白

平和會

追前組合員以外の各位に於て藝妓御入用の節は左記行司
 事務所又は本組合員に取扱ひ申候間御用命仰付被下度此
 段御願申上候也

平町南町十七番地

平和會事務所
 電話 四三九番

貸切は

皆様ノ昭和タクシーへ
 乗心ダシ地ノ揃ヒデ
 電話 三四三番

宣傳中半額割引

明日のゆわす今すぐ電六八〇番へ
 パーレット安全剃刀 定價 金一圓八十錢
 自動研皮砥付 半額割引 金 九 十 錢
 一枚の刃で永久に使用出来る
 パリカン、剃刀は……土橋、へ
 詰かえホマード、クリーム、フケ取り香水は……芳香園
 白衣と鏡……大小取揃へ有る理髪器具店へ



滋養ニ富ミ食ベテオイシイ、胚芽ソトレナ
 イ絶対無砂搗ノ風味ノ好イ白米ノ御用ハ
 山野邊無砂搗精米所へ
 平町仲町(平稅務署前)
 電話 三一八番



代理店 平町五丁目 山野邊藥局
 定價 一週分 一八〇 十週分 三五〇
 五週分 一八〇 十週分 三五〇

胃腸 専門科
 腸十二指腸 胃腸科
 淋病 皮膚病
 院 醫 科 院 醫 科
 (七〇一話線) 町 南 町 平

カクテル
 何キタヒラテン552
 以トラン サロン

二葉印刷所
 平町仲町・電話一九三番

例年の通り
 四月十日より廿日迄特賣
魚清のまろろデ
 おさしみ。おすし 御一人前
 鐵火卷。鐵火井 金廿錢均一
 山かけ。ねぎまなべ
 御さしみに限り一人前
 一口三人前以上は 十七錢づつ

御花見の折詰
 御肴折詰一人前貳拾錢より
 御すし折詰同 貳拾錢より
 魚清自慢の親子。天井。ちらしは二十錢
 で満腹味は……百パーセント
 御刺身。吸物。御飯付二十五錢
 平町二丁目警察署通り

日本せ印魚清食堂
 電話 六三三番
 勿來製氷會社 魚清氷卸部
 一手販賣 電話 四六七番
 公園内 魚清賣店
 こさわ前